

平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	町民自らも楽しみながら交流するまちづくり	分野(章)番号	6
政策名(項)	地域資源を生かした体験型観光の推進	政策(項)番号	II
施策名(目)	丸森型グリーンツーリズムの推進	施策(目)番号	②
担当課	商工観光課	担当課長	大槻 正儀

1. 施策の基本方針

施策目的	・豊かな歴史・文化が育んできた地域資源を生かした体験型観光である丸森型グリーンツーリズムを推進することにより、交流人口の拡大と地域産業の振興を図ることを目的とする。
------	--

2. 施策の現状分析

施策の概況	施策に対するニーズ等(具体的事項)	施策を取り巻く環境(社会環境, 国・県の動向等)						
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が主体となって行う交流事業に対する運営などへの支援が求められている。 ・グリーン・ツーリズムに携わる人材の育成が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県では、自然とのふれあいや農業体験など都市住民等のニーズに応えるとともに、都市と農村漁村の交流の促進により、農産物等の販売増加など、地域活性化を図るため、グリーン・ツーリズムの取組みを推進している。 ・東京電力福島第一原発の事故の影響による風評被害で、宮城県や福島県への観光客が大きく減少している。 						

施策指標(成果指標)	指標の内容		達成度(上段:目標 下段:実績)					備考(他団体状況含む)
			H23	H24	H25	H26	H27	
主要 参考① 参考② 参考③ 参考④	観光客入込数	目標	/	/	550,000人	550,000人	555,000人	555,000人
		実績	502,498人	531,300人	571,281人	/	/	
		達成率	/	/	103.9%	/	/	
			目標	/	/	/	/	/
			実績	/	/	/	/	/
			達成率	/	/	/	/	/
			目標	/	/	/	/	/
			実績	/	/	/	/	/
			達成率	/	/	/	/	/
			目標	/	/	/	/	/
			実績	/	/	/	/	/
			達成率	/	/	/	/	/

3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費		4,824千円	6,123千円	7,155千円	6,431千円	6,811千円	6,811千円
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円	3,400千円	3,400千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	(うち過疎債)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	その他特定財源	45千円	38千円	千円	千円	千円	千円
一般財源		4,779千円	6,085千円	7,155千円	3,031千円	3,411千円	6,811千円
従事者数	正職員	0.93人/年	0.88人/年	0.46人/年	0.46人/年	0.39人/年	0.39人/年
	臨時職員	1.00人/年	1.00人/年	1.00人/年	1.00人/年	0.00人/年	0.00人/年
人件費	正職員	6,262千円	5,999千円	3,136千円	3,136千円	2,658千円	2,658千円
	臨時職員	千円	千円	千円	千円	千円	千円
退職給与引当金		806千円	862千円	451千円	451千円	383千円	383千円
トータルコスト		11,892千円	12,984千円	10,742千円	10,018千円	9,852千円	9,852千円

4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	b	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]		・地域住民のグリーン・ツーリズムへの意識は向上してきているものの、東京電力福島第一原発の事故の影響による風評被害等により昨年度に続き2年連続で観光客入込数が減少しており、達成度はやや低い。
	施策成果向上の可能性	b	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]		・地域住民のグリーン・ツーリズムへの取組み意欲が高まり、資源の掘り起こしや各種交流事業が増えることによって、施策成果の向上が期待できる。
	貢献度	b	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]		・グリーン・ツーリズムの活動が地域ごとに活発になれば、体験型観光が広がり、交流人口が拡大し、地域経済の活性化に寄与するなど、貢献度はやや高い。	

5. 施策の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設やイベント、体験事業などを有機的連携により町内を巡回できるコースの設定等を検討する必要がある。 ・宿泊滞在の際の受け皿が少ない状況なので、その確保を検討する必要がある。 ・グリーン・ツーリズム活動の持続可能な仕組み作りを検討する必要がある。
----	---

6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	<ul style="list-style-type: none"> ・市民農園運営事業は、空き区画が発生しており、その対策を検討する必要がある。 ・グリーン・ツーリズム事業は、事業実践者も増加しており、今後観光施設との連携を図っていききたい。 ・活性化センター等の経年劣化は避けられない。初期段階での修繕により経費増大を防ぎたい。
------	------------------------	---------	---

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。
必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。